

A 基礎

練習の答えと考え方

問1

答え いくどうおん

解説 「異」は違う、「同」は同じ。違う人の口から同じ意見が出ることを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問2

答え じゅうにんという

解説 「十色」は「という」と読む。人それぞれの違いを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問3

答え よういしゅうとう

解説 細かな点まで気を配り、十分に準備してあることを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問4

答え ゆうじゅうふだん

解説 「柔」は「じゅう」、「断」は「だん」。決断できないことを表す。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

A 基礎

練習の答えと考え方

問5

答え 試行錯誤

解説 実際に試す「試行」と、間違いを表す「錯誤」を組み合わせる。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問6

答え 臨機応変

解説 その場の状況に合わせ、変化に応じて対応すること。「機」を「期」にしない。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問7

答え 自画自賛

解説 自分でしたことを自分でほめること。「自画自讃」と書くこともあるが、本問では常用漢字の「賛」を用いる。

確認 本問では、指定された常用漢字による「自画自賛」を正答とする。練習問題のため配点なし。

問8

答え 適材適所

解説 その人の能力に適した仕事や役割を割り当てること。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

B 標準

練習の答えと考え方

問9

答え ウ

解説 「長」は長所、「短」は短所を表す。両方があるという意味。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問10

答え ア

解説 信じる気持ちと疑う気持ちの両方がある。完全に信用したり否定したりしてはいない。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問11

答え エ

解説 「暗中」は手がかりや見通しが無い状態のたとえ。「模索」は手探りで探すこと。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問12

答え イ

解説 細部の違いよりも、全体として共通する点に注目する語。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

B 標準

練習の答えと考え方

問13

答え ウ

解説 自分一人がまだ知らない、というだけではない。それまでに例を聞かないほど珍しいこと。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問14

答え ア

解説 「本」は重要な中心部分、「末」は枝葉の部分。大切さの順序を逆にしてしまう。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問15

答え イ

解説 話や文章で、遠回しな説明や前置きをせず本題に入ること。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問16

答え エ

解説 きっかけによって気持ちや考え方を新しくすること。単なる気の迷いとは違う。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

C 応用

練習の答えと考え方

問17

答え かばんAは軽いが雨に弱く、かばんBは重いが雨に強いので、どちらも一長一短がある。

解説 よい点だけでなく悪い点も示し、両方のかばんに当てはまるように使う。

確認 「一長一短」を正しく用い、A・Bそれぞれの長所と短所を示して一文にしていれば正解。語順や言い換えは問わない。

問18

答え ウ

解説 急な変化を受けて、その状況に合う方法に切り替えている。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問19

答え 試行錯誤であり、実際に試して結果を確かめ、方法を直すことを繰り返しているから。

解説 決められずに迷っているのではなく、試みと修正を実行している。

確認 「試行錯誤」を選び、試す・結果を確かめる・方法を直すという繰り返しに触れていれば正解。

問20

答え 自画自賛は自分が自分のことをほめる語であり、友人の作品をほめる場面には合わないから。

解説 ほめる人と、ほめられる行為・作品の主体が同じであることが必要。

確認 自分が自分の行為や作品をほめる語であることと、文では友人の作品をほめていることの両方を示せば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問21

答え それぞれの人が得意とすることに合った仕事を任せているから。

解説 能力と役割の適合に注目する。「全員に同じ仕事」ではない。

確認 人ごとの能力・得意なことと、担当する仕事が合っていると説明していれば正解。

問22

答え ア

解説 多くの人が同じ意見を述べているので「異口同音」。好みの違いに注目する「十人十色」と区別する。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問23

答え エ

解説 内容を分かりやすく伝えるための飾りが、内容を読めなくしてしまっている。

確認 正答と一致すれば正解。練習問題のため配点なし。

問24

答え 文化祭の出し物は、舞台発表と展示のどちらにしますか。

解説 去年の様子や今年への期待を述べる部分を省き、出し物を選ぶという本題を直接尋ねる。

確認 舞台発表と展示のどちらにするかを、前置きなく尋ねる一文なら正解。両方の候補を残すこと。

「どちらがよいですか」などの言い換えも可。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問25〔10点〕

答え いっきいちゆう

解説 状況が変わるたびに、喜んだり心配したりすること。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

問26〔10点〕

答え 正真正銘

解説 うそや偽りのない本物であること。「真」「銘」を正しく書く。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

問27〔10点〕

答え 温故知新

解説 古い事柄を学び直し、新しい知識や考えを得ること。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

問28〔10点〕

答え イ

解説 方針や態度が、最初から最後まで変わらず通っていること。

採点 正答と一致すれば正解。10点。部分点なし。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問29〔15点〕

答え エ

解説 負けが迫る危機的な状態を、一手でよい方向へ立て直している。

採点 正答と一致すれば正解。15点。部分点なし。

問30〔15点〕

答え ウ

解説 付和雷同は、自分で考えずに他人に従うこと。根拠を検討した上での賛成は区別する。

採点 正答と一致すれば正解。15点。部分点なし。

問31〔15点〕

答え 期限を知っていて作業を放置した自分の行動によって、締切に間に合わないという悪い結果を招いたから。

解説 自分の行いの結果を自分で受けること。ここでは本人の怠りと不利益が結び付いている。

採点 自分が期限を知らず放置したことに5点、それが締切に間に合わない結果の原因であると結び付けた説明に10点。

問32〔15点〕

答え 教わる会を開くという一つの行動で、昔の遊びを覚えることと、地域の人と知り合うことの二つのよい結果が得られたから。

解説 一つの行動から二つの利益が生じることがポイント。単に二つの行動を並べるのではない。

採点 一つの行動が「教わる会を開くこと」だと示して5点、「遊びを覚える」「地域の人と知り合う」の二つの結果をそれぞれ示して各5点。